



取扱説明書

ポータブル動噴

GSB500TRLi-50

ご使用前に必ず、お読みください。

まずはじめに ▲安全に作業するためにをお読みください。

いつまでも大切に保管してください。



リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行なっていただくために、製品の正しい取り扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮できるようにこの冊子をご活用下さい。また、お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用ください。なお、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

本製品についてお気付きの点がございましたら最寄りの取扱店にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄の取扱店にてお買い求めください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

■適用範囲について

本製品は水田、畑、果樹園、牧場等における散布作業を目的とした製品です。（「使用用途」に詳細記述）この使用目的範囲を逸脱しての使用が原因での事故、許可なく改造及び分解を行い、それに伴って生じた事故に関しては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

- 危険** . . . もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う事になるもの。
- 警告** . . . その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるもの。
- 注意** . . . その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- 注意** . . . その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

■使用用途について

本製品は次の作業にご使用いただけます。他の用途には、ご使用にならないでください。違った用途に使用すると、安全を損なう恐れがあります。

- 水田作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 一般畑作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 果樹一般の病害虫に対する薬剤散布。
- ハウス栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 花栽培作物の病害虫に対する薬剤散布。
- 庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬剤散布および散水。
- 牧舎、鶏舎などへの消毒液・殺虫液の散布。
- 都市衛生用消毒液・殺虫液の散布。
- 公園などの花壇・街路樹の病害虫に対する薬剤散布。
- 雑草防除に対する除草剤の散布。
- 野菜・根菜の洗浄および散水

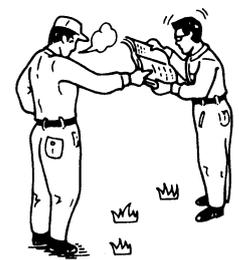
自分が使用するつもりで！

■本製品を貸すとき、ひとに操作させるとき

事前に取り扱い方を教え、本製品に張ってある **!** (安全注意マーク) 印の付いている警告ラベルについても一枚ずつ説明してあげてください。本製品と一緒に、この取扱説明書を渡し、よく読んで正しく安全に取り扱うように指導してください。

特に禁止事項については、念を入れて説明してください。

ご家族に操作を頼む場合も同様です。



■国際単位について

本取扱説明書には、国際単位を表示しています。下記の換算数値を良く読んでご理解の上ご使用下さい。

換算表

量	新計量法対応表示	換算	従来の表示	備考
面積	[m ²](平方メートル)	10000[m ²]=1[ha]=100[a] =10反歩=3000坪	[a](アール), [ha](ヘクタール) 坪、町歩、反歩	※①
回転速度	[rpm](回毎分) [min ⁻¹](毎分)	1[min ⁻¹]=1[rpm]	[rpm]	
力	[N](ニュートン)	9.8[N]=1[kgf]	[kgf](重量キログラム)	
力のモーメント	[N・m](ニュートンメートル)	9.8[N・m]=1[kgf・m]	[kgf・m]	
圧力	[Pa](パスカル) [N/m ²](ニュートン毎平方メートル)	0.98[MPa]=10[kgf/cm ²] 9.8[Pa]=1[mmH ₂ O]	[kgf/cm ²] [mmH ₂ O]	
効率・動力	[W](ワット)	735.5[W]=1[PS] 9.8[W]=1[kgf・m/s]	[PS] [kgf・m/s]	

※注意事項

①土地面積については、[a]、[ha]を使用することがあります。

目次

1.  安全に作業するために	2
2. 付属品と各部のなまえとはたらき	6
3. 警告ラベルの取扱い	8
4. 取扱および操作のしかた	9
5. 始業点検	9
6. 運転のしかた	11
7. 長期保管	16
8. 故障と対策	17
9. サービスと保証について	18
10. 主要諸元	19

1. ⚠️安全に作業するために

(1) はじめに

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しい安全作業を行ってください。

安全に作業していただくために、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですがこれ以外にも本文の中で ⚠️危険・⚠️警告・⚠️注意・注意 としてそのつど取り上げています。

(2) 作業前にこれだけは守りましょう。

⚠️危険

- ・ 次のような状況にある人は、散布作業をしないでください。正常な操作ができなかったり、通常よりも薬剤の影響を受けやすく、事故にあう可能性があります。
- ・ 身体を露出しないように、身体にあった大きさの適切な保護具を着用してください。保護具が不適切な場合、薬剤が身体に付着し薬害をおこす可能性があります。

こんな人は散布作業をしてはいけません

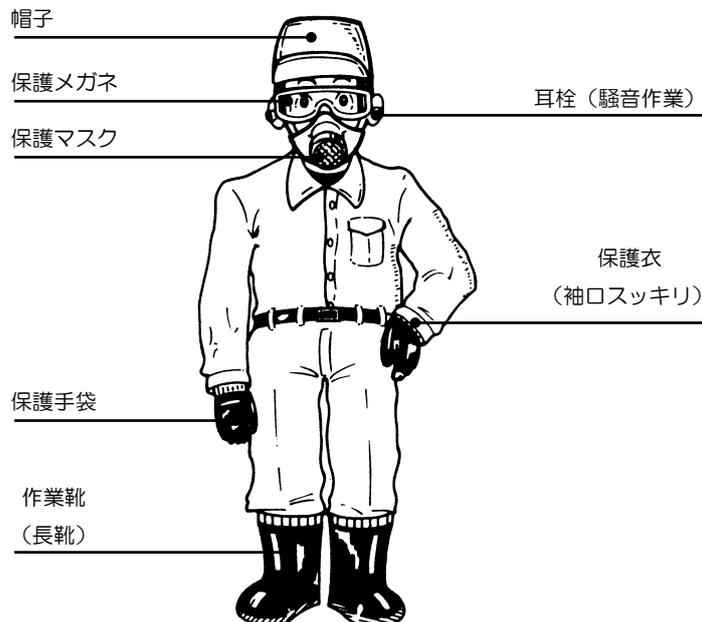
- 過労、病気、けが、薬物の影響、その他の理由により正常な散布作業ができない人。
- 酒気をおびた人。
- 妊娠中および産後1年を経過していない女性。
- 負傷中や生理中など薬剤による影響を受けやすい人。
- 16歳未満の人。



作業に適した服装をします

- 保護具はいつも正常に機能するように、点検・整備をして正しくご使用ください。

- ・ 騒音大きい場合はイヤマフまたは耳栓を着用してください。
- ・ 作業領域には作業員以外の人を近づけないでください。



(3) ご使用時の注意

⚠ 危険

- 強酸性の薬品、強アルカリ性の薬品、塗料、シンナー、ガソリン、灯油、ベンジン、アルコールなどを噴霧しないでください。やけどや火災の可能性があります。
- 引火性の高い薬剤は火災の恐れがありますので使用しないでください。

⚠ 警告

- ノズルを人や動物に向けしないでください。薬剤がかかると薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤がはねたり、こぼれないようにしてください。人体にかかると薬害をおこす可能性があります。
- 必ずポンプを停止してから、清掃作業を行ってください。ポンプが動いていると薬剤が出て、薬害をおこす可能性があります。
- ノズルをのぞきこまないでください。目や顔などに薬剤がかかり、薬害を起こす可能性があります。
- パッキンは傷や変形のないものを使ってください。異常なパッキンを使用すると薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- パッキンのある部分の組み立ては、確実に締めてください。締め付けが強すぎるとパッキンが破損して薬剤が漏れ、また弱すぎてもすき間から薬剤が漏れて、薬害をおこす可能性があります。
- 改造しないでください。安全を損なう可能性があります。
- 不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。整備不良のまま作業を続けると、薬害をおこしたり、けがや器具の損傷をおこす可能性があります。

注意

- 薬剤は薬剤タンクストレナを通して注入してください。異物が入ると故障の原因となります。
- ノズルは必ず手で締めたり緩めたりしてください。プライヤーで回すと、ノズルが破損する可能性があります。
- 散布作業終了後は必ず、ポンプの内部をきれいな水で洗浄します。ポンプ内部に薬剤が残っていると、ポンプ故障の原因となります。
- ノズルから霧が出なくなったら、ポンプを止めてください。ポンプの空運転を続けると、ポンプ故障の原因となります。
- 本製品の内部に水分を残さないでください。冬季凍結により、ポンプを破損することがあります。
- 倒したり、ぶついたりしないでください。故障の原因となります。
- 自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。

(4) ポジティブリスト制度について

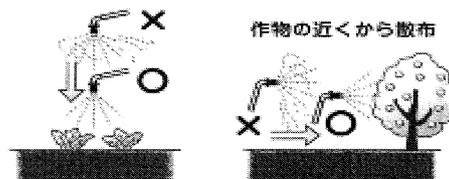
食品衛生法の農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されます。今まで残留基準値が決められていなかった農産物に一律の厳しい基準が設けられます。定められた基準を超えて農薬が残留する食品は販売等が禁止されるため、散布する薬剤が周りのほ場にドリフトしないよう、これまで以上に、ドリフト防止に気をつける必要があります。また、周辺ほ場へのドリフトが問題になるばかりではなく、ドリフトが周辺住民に迷惑をかけることもあります。さらに、湖沼などの水源へ混入すると環境破壊にもつながります。圏外へのドリフトを減らすことは様々な面から求められています。

ポジティブリスト制度とは？

食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則禁止とする制度です。この一定量とは「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準)

※散布しようとする作物以外に農薬がドリフトしないように細心の注意をして散布しましょう！

- 農薬散布時は必ず守りましょう。
 - ① 風の弱い時に散布します。
 - ② 散布の位置や方向に注意します。
 - ③ 適正なノズルを使い適正な圧力で散布します。
 - ④ 適正な量を散布します。
 - ⑤ 圃地の端部では特に注意します。
 - ⑥ 薬剤タンクやホースをしっかりと洗浄します。



ドリフト低減ノズル [エコシャワー]

名称	バッテリー動噴用 1頭口	背負動噴用 1頭口	セット動噴用 2頭口
外観 (部品番号)	 (401763)	 (401764)	 (401765)

(5) ご使用後の注意

⚠ 警告

- 作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。身体に薬剤が付着していると、薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤は薬剤タンクに残らないように散布してください。残ったままで保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって作物が薬害をおこす可能性があります。
- 損傷箇所がある場合は、修理してから保管してください。修理に使う部分や消耗部品は、当社指定の純正部品をご使用ください。純正部品以外のものを使用すると、安全を損なう可能性があります。

注意

- 付着した薬剤はきれいに取り去ってください。薬剤が付着していると、サビの発生や故障の原因になります。
- 乾燥した清潔な場所に保管してください。湿気やチリの多い場所に保管すると、故障の原因になります。
- 電気部品が内蔵されています。薬剤補給時は水入口からこぼさないようにしてください。

(6) 薬剤について

⚠ 警告

- 使用する薬剤の取扱説明をよく読んで、用法、用量、使用上の注意を守って正しくご使用ください。散布量や薬剤の種類を間違えると、薬害をおこします。
- 薬剤は安全な場所に保管し、運搬するときは容器が破損しないように気をつけてください。薬剤が漏れ出すと薬害をおこします。
- 薬剤は幼児の手の届かないカギのかかる専用の場所に保管してください。幼児が触ると、薬害の可能性あります。
- 薬剤の取扱に注意して下さい。万一目や口に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ハウス内で作業するときは、換気に注意してください。換気が不十分だと薬害をおこします。
- 頭痛やめまいを感じたり、気分が悪くなったときは、すぐに作業を中止して医師の診察を受けてください。
- 風向きを考慮して、周辺の他の作物や畜舎、養魚池、水源地、河川、湖沼、住宅、通行人に飛散させないように散布してください。
- 風上から風下に向かって作業してください。風下から作業すると作業者が薬剤を浴びて、薬害をおこします。
- 散布作業は朝夕の涼しい時間帯に行ってください。気温の高い時間帯は散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤を散布した直後の場所へは入らないでください。散布後の薬剤の蒸気を吸いこみ薬害をおこす可能性があります。
- 作業中の喫煙・飲食は控えてください。タバコや手についた薬剤が口から入り薬害をおこす可能性があります。
- 薬剤は飲み物や食べ物の容器には移し替えないでください。誤って飲み込むと薬害をおこす恐れがあります。
- 作業後は使用した保護具を十分に清掃してください。
- 作業に使用した作業衣は他の洗濯物に薬剤が付かないよう分けて洗濯してください。

注意

- 有機溶剤を含む薬剤のご使用はお控えください。有機溶剤はパッキン、ホース類を傷めやすい薬剤です。やむを得ずご使用される場合は、使用後に必ず清水で十分に洗浄してください。洗浄が不十分ですとパッキン、ホース類が損傷し、機械故障の原因になります。
- フロアブル剤の中には、原液で使用すると、使い方にもよりますがパッキン、シール部を痛め、液漏れにつながる場合があります。ご注意ください。



(7) バッテリー（電池）の取り扱い

⚠ 危険

- バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察を受けてください。失明の可能性があります。
- 次のことを守ってバッテリーをご使用ください。間違っていると、バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
 - 分解・改造しないでください
 - ハンダ付けしないでください。
 - 充電には、専用の充電器をご使用ください。
 - 火の中に投入したり、加熱したりしないでください
 - +端子と-端子を金属類で接続しないでください。
 - 指定された機器以外に接続しないでください。
 - 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口などに直接接続しないでください。

⚠ 警告

- 当社指定のバッテリー以外を使わないでください。
- 改造したバッテリー（分解したセルなどの内蔵部品を交換したバッテリー含む）も使用しないでください。作業機本体の性能や安全性も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因となります。
- バッテリーを水や海水につけたり、濡らさないでください。バッテリーの発熱や、サビの原因となります。
- バッテリーの外装を傷つけたり、チューブをはがさないでください。バッテリーの漏液、発熱、発火、破裂の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす可能性があります。
- バッテリーは乳幼児の手の届かないところに保管してください。乳幼児がバッテリーに触ると、感電や皮膚障害を起こす可能性があります。
- 必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 落とししたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

注意

- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
- 40℃以上の高温で使用・保管しないでください。バッテリーの漏液、性能劣化、寿命低下の原因となります。

(8) 充電器の取り扱い

⚠ 危険

- 充電には必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破損する原因となります。

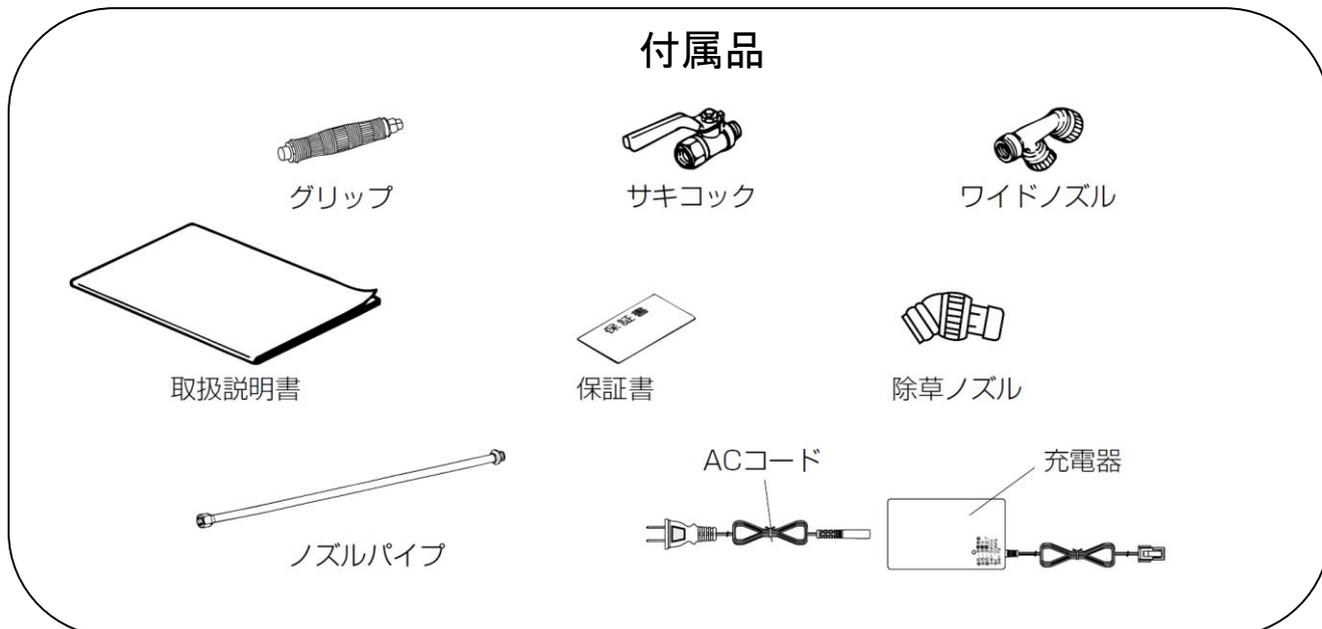
⚠ 警告

- 芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだら使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で充電しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
- コードの上に重いものをのせたり、本製品の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて火災、感電の原因となります。

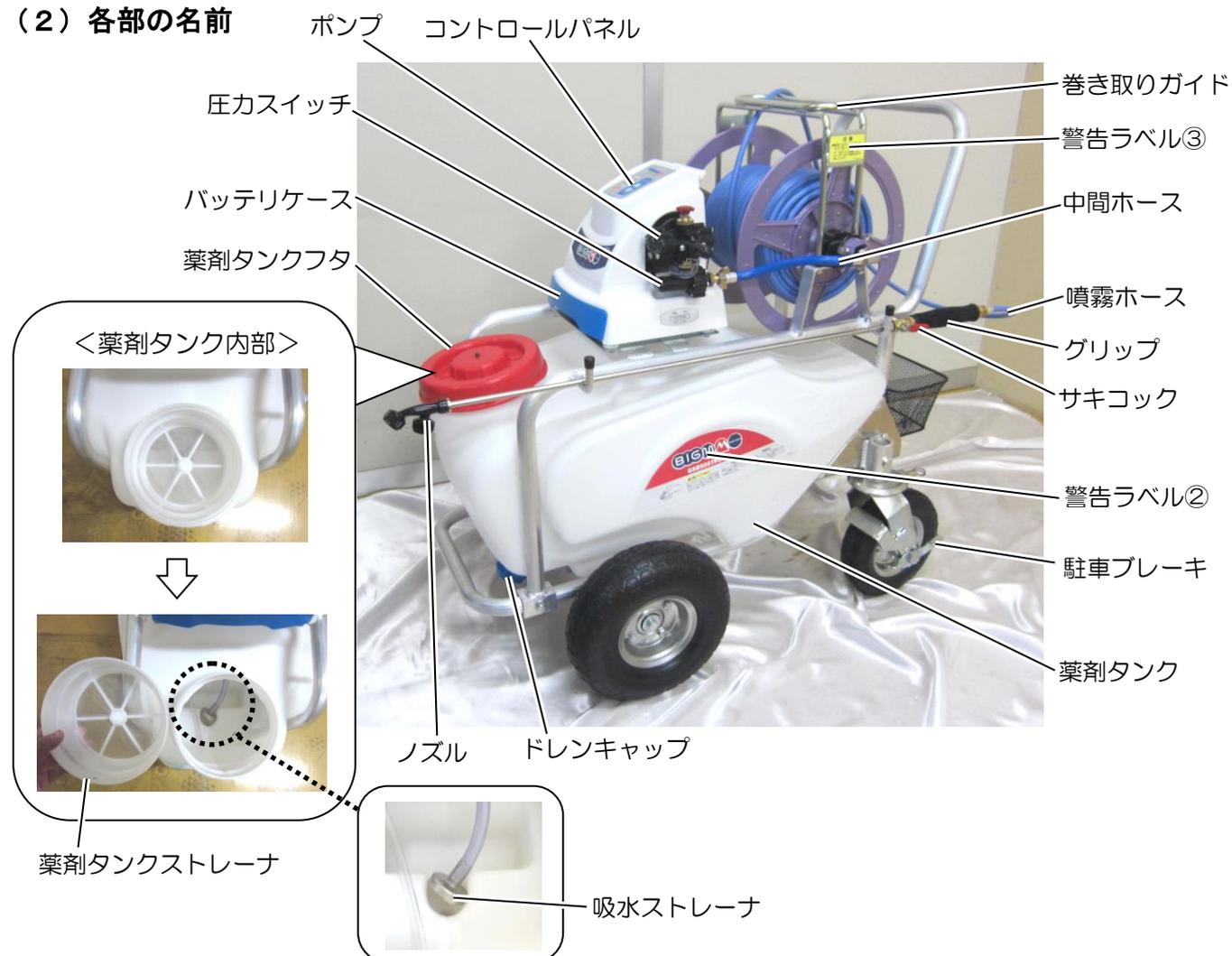
2. 付属品と各部のなまえとはたらき

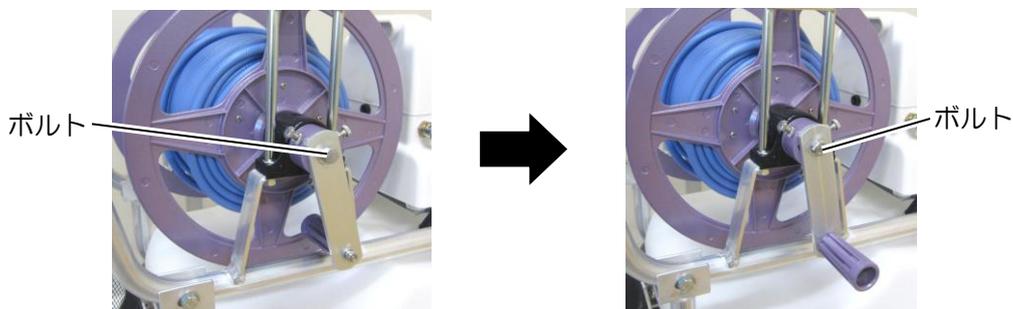
(1) 付属品のご確認

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。



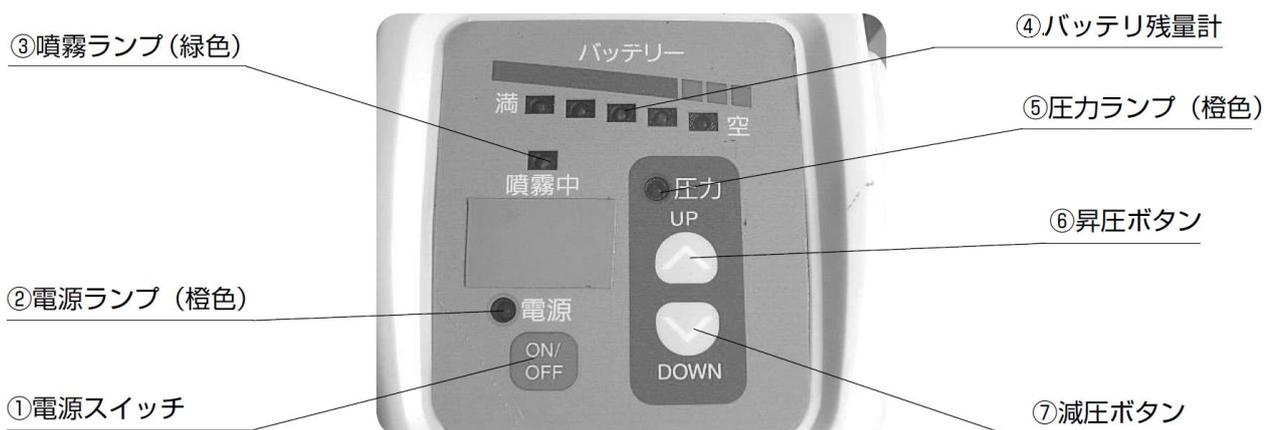
(2) 各部の名前





製品出荷時には巻き取りレバーは内向きになっています。スパナ等の工具を用いてボルトをはずし、ハンドルを外向きにしボルトを確実に締付けてからご使用ください。

(3) コントロールパネル操作部の名前と働き



- | | | | |
|-------------|---------------------------------------|--------|--|
| ①電源スイッチ | 本機電源のON、OFFをします。 | ⑥昇圧ボタン | 1度押しごとに圧力が1段階上がります。長押しすると連続して圧力が上がります。 |
| ②電源ランプ (橙色) | 電源を入れると橙色のランプが点灯します。 | ⑦減圧ボタン | 1度押しごとに圧力が1段階下がります。長押しすると連続して圧力が下がります。 |
| ③噴霧ランプ (緑色) | 噴霧中に緑色ランプが点灯します。 | | |
| ④バッテリー残量計 | バッテリー残量を表示します。 | | |
| ⑤圧カランプ (橙色) | 圧力の状態をランプの点滅で表します。圧力が上がるにつれ点滅が速くなります。 | | |
- ※圧力の段階は11段階あります。

3. 警告ラベルの取扱い

⚠ 注意

- 警告ラベルは表示内容がいつもハッキリと見えるように清掃してください。清掃する際はシンナーやベンジンなどの有機溶剤はラベルをいためるので使用しないでください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しい物と交換してください。警告ラベルは、本製品をお買い求めの販売店で購入できます。
- 警告ラベルを貼ってある部品を交換したときは、警告ラベルも新しい物を用意して、所定の位置に貼ってください。

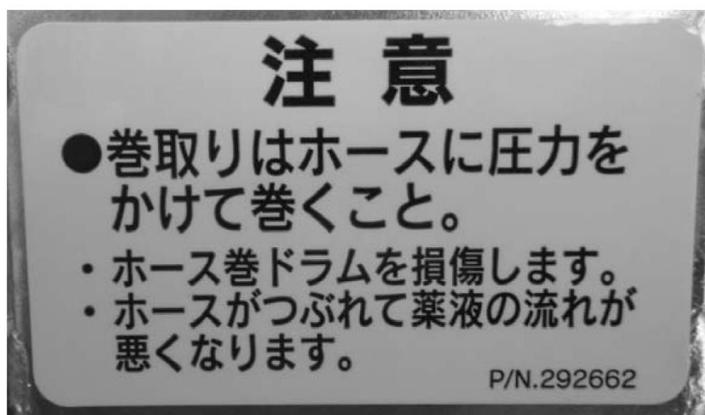
本製品には、下図のような警告ラベルが貼ってあります。よく読んで正しくお使いください。用ください。



①P/N834503



②P/N834502



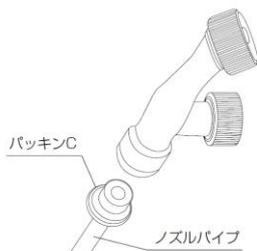
③P/N292662

4. 取扱および操作のしかた

ノズルの組立



パッキンが付いていることを確認してから、噴霧ホースにグリップ、グリップにサキコック、サキコックにノズルパイプ、ノズルパイプにノズルの順で接続します。接続後、水漏れがないことを確認してください。



ノズルパイプとノズルを取り付ける際は手で締め付けてください。



ノズルホルダ

5. 始業点検

- その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。始業点検を毎回行うことによって、事故あるいは故障などを未然に防止することができます。非常に大切な点検ですので、必ず実施してください。
- 各部ネジにゆるみがないか、ホースやタンクに亀裂がないか、パッキンの脱落がないか点検します。
- 作業前日にバッテリー残量を確認して、不足しているときは充電します。

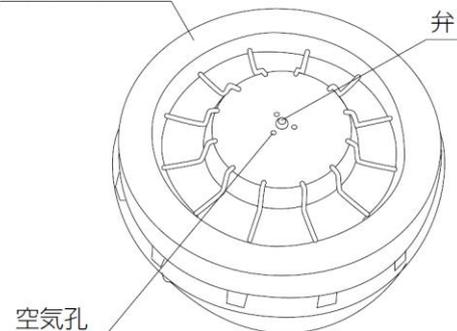
注意

- 薬剤タンクフタの空気孔が、つまっていないか点検します。つまっていれば、空気孔と弁を掃除してください。空気孔がつまると吐出圧力の低下、薬剤タンクを破損する原因となります。

注意

- ネジがゆるんでいると事故につながります。
- 警告ラベルが本体からはがれた場合は購入して貼付してください。
- 本製品は平坦地圃場で使います。圃場が傾斜地だったり凸凹が激しい場所での使用は避けてください。本製品が転倒する場合があります。

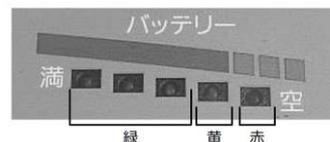
薬剤タンクフタ



(1) バッテリ残量の確認

注意

- 必ずポンプに水が吸水されている状態で、点検してください。ポンプ内に水が入っていないとポンプが空運転となり故障の原因になります。
- 1. 薬剤タンクにきれいな水を1L入れます。
- 2. 噴霧ホースにノズルを接続します。
- 3. 電源をONにして、ポンプに吸水させます。(P11の「6. 運転のしかた」を参照してください) サキコックを「開」にして、ノズルから霧を噴出させてバッテリー残量計のランプを確認します。
- 4. 本機や配管部からの水漏れが無いことを確認してください。
バッテリー残量計の指示が緑色ランプの範囲内であっても、点灯数が1個の場合は運転できる時間が短いので、充電してください。



(2) 運搬時の注意

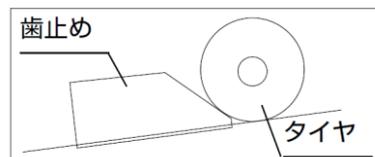
車両への積み込みが終わりましたら(駐車ブレーキ)を確実にかけ、直ちにロープで固定してください。ロープは必要以上に強くかけないでください。また、バランスよく引っ張ってください。故障の原因になります。

注意

- 薬剤を入れた本製品は重量物です。車両への積みこみ・積みおろし作業は、必ずタンク空の状態で行ってください。

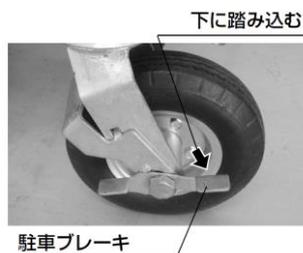
注意

- アユミ板を使って本製品の積みおろしのとき車輪の幅とアユミ板幅を一致させておこなってください。
- 傾斜地での駐車は避けてください。タイヤが滑り本機が動く可能性があります。やむを得ない場合は右図のようにタイヤに歯止めをしてください。



(3) 駐車ブレーキの使い方

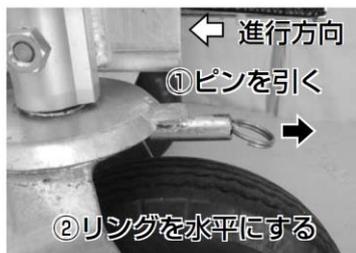
下にふみこむとブレーキがかかります。水平にもどすと解除されます。



駐車ブレーキ

(4) ロックピンの使い方

キャストを進行方向で固定することができます。アユミ板で本製品を積み降しするとき、キャストのブレを抑えることができます。



ロック解除



ロック状態

（５）薬剤の調合

使用する薬剤の説明書をよく読み、調合方法、使用上の注意に従ってください。
散布計画を立て、薬剤は余らないように作ってください。

注意

- 薬剤の処方基準を超えた濃度で使用しますと作物に薬害を引き起こす場合があります。また本機の消耗を早めます。特に水和剤についてはご注意ください。
- 希釈する水は水道水をご使用ください。砂等の固形物が混じりますとポンプが損傷します。十分ご注意ください。
- 薬剤、水はゴミが混ざらない様、必ず薬剤タンクストレーナを通して薬剤タンクに入れます。異物が入ると故障の原因となります。
- 薬剤をこぼしたり、あふれさせないでください。薬剤がポンプケース内部に入ると、ショートやサビの原因となります。

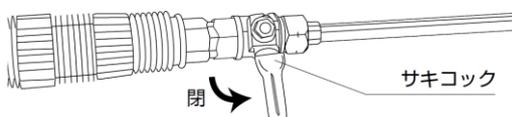
※液剤以外を使用するとき

水和剤を使用する場合、希釈倍率によっては水和剤が薬剤タンク底に沈殿し、薬効にムラが出る場合があります。満水（50L）からタンク半分程（25L）作業したら、薬剤タンク内をかきまぜたり、本機を前後にゆすったりして攪拌してください。

6. 運転のしかた

（１）始動の前に

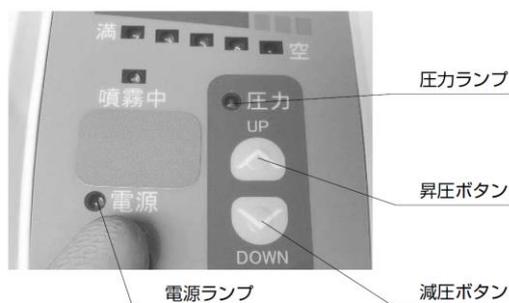
1. バッテリーが充電されている事を確認してください。（充電の方法はP14の「（7）バッテリーの充電のしかた」を参照してください）
2. サキコックが「閉」になっていることを確認します。



3. 薬剤タンクに水が入っていること、本機の薬剤タンクフタの締めが確実であること、本機の後輪の駐車ブレーキが効いた状態になっていることを確認します。

（２）始動・運転

1. コントロールパネルの電源スイッチを約1秒間長押しします。電源がONになり、電源ランプ（橙色）が点灯し、ポンプが作動します。
2. コントロールパネルの昇圧ボタンを押し、圧力を上げます。圧カランプ（橙色）が点滅します。
 - 初回電源ONの直後は、最低圧にセットされています。（製品出荷時）
3. ポンプが吸水したことを確認します。
 - 吸水に時間がかかるときは、サキコックを「開」にし、昇圧ボタンを一番上まで上げてください。吸水した後はコックを閉じてください。
 - ポンプ吸水後、噴霧ホース内に蓄圧され、圧カスイッチが作動し、ポンプが停止します。

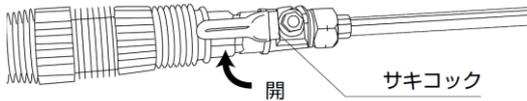


エア抜きバルブの使い方

ポンプが吸水しにくいときは、バルブを「開」方向に1～2回転してください。余水ホースに水が流れるのを確認したら、バルブを「閉」に戻してください。



4. サキコックを「開」にします。圧カスイッチが作動し、ポンプが動き出します。



5. ノズルからの噴霧を見ながら、昇圧、減圧ボタンで適当な圧力に調整します。

- 1 1 段階の圧力調整ができます。
- 昇圧ボタンを一回押すと 1 段階圧力があがります。
- 昇圧ボタンを長押しすると、連続して圧力が上がっていきます。
- 減圧ボタンは昇圧ボタンの逆のはたらきになります。

圧力設定の目安

標準付属ノズル	圧力設定	散布時間／散布量
ワイドノズル	上から 4 ～ 5 段目（最高圧力から減圧ボタン 3 ～ 4 押）	約 7 0 分 (約 1 2 0 L)
除草ノズル	下から 2 ～ 3 段目（最低圧力から昇圧ボタン 1 ～ 2 回押）	約 3 0 0 分 (約 1 6 0 L)

圧カスイッチの働き

この噴霧機の圧カスイッチはサキコックを開けたとき、直ちに噴霧できるように、ホース内に蓄圧しています。

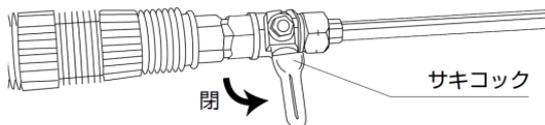
1. サキコックを「開」にするとモータが ON になります。（表示パネルでは噴霧中の緑色ランプが つきます。）
 2. サキコックを「閉」にするとモータが OFF になり停止します。（表示パネルでは噴霧中の緑色 ランプが消えます。）
- ※圧カスイッチはホース内の圧力で作動するため、サキコックの開閉と時間差が発生しますが、故障ではありません。
- ※ホース内の圧力が下がると設定圧力に保つため、自動でモータが起動することがあります。

注意

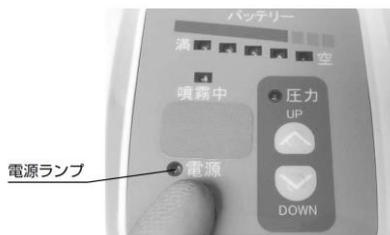
- ご使用にならない時は電源を OFF にしてください。

(3) 停止

1. サキコックを「閉」にします。圧カスイッチが作動し、ポンプが停止します。



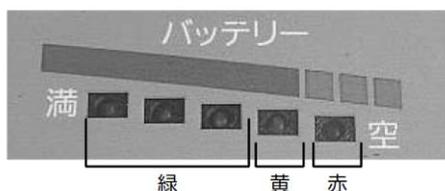
2. コントロールパネルの電源スイッチを約 1 秒間長押しし指をはなすと、電源が OFF になります。電源ランプ（橙色）が消灯します。



3. サキコックを「開」にして、噴霧ホース内に封入された圧力を抜きます。その後、再度サキコックを「閉」にします。

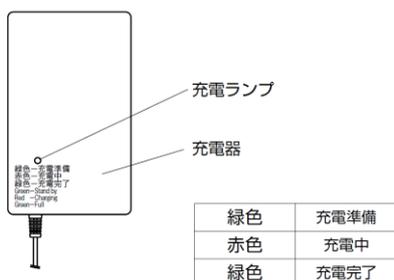
(4) バッテリー残量計の見かた

緑	作業できます。満充電でランプ3個点灯します。充電が減るに従い、点灯数が減ります。
黄	充電してください。
赤	自動停止します。充電してください。



バッテリー残量の確認のしかたは、P10の「(1) バッテリー残量の確認」を参照してください。

(5) 充電ランプの見かた



—何か異常があった場合—

- ・ バッテリーを接続しても、充電ランプが緑色のままの時はバッテリーまたは配線に異常があります。
 - ・ 充電ランプがつかない時は充電器に異常があります。
- P17の「故障と対策」を見て対応してください。

(6) 充電時の注意事項

⚠ 警告

- 屋内の乾燥した場所で充電してください。水気があると、ショートや感電の可能性があります。
- 直射日光の当たらない、風通しの良い場所で充電してください。高温の環境で充電し続けると、バッテリーの劣化、又は、不具合を招く可能性があります。異常を感じたら、直ちに当社問い合わせ先にお問い合わせください。
- 必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- 充電には必ず標準付属の専用充電器をご使用ください。他の充電器を使うと火災の可能性があります。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電は周囲温度0～40℃の範囲内で行ってください。範囲外での充電行った場合、破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。

⚠ 注意

- バッテリーのネジを外したり、分解は絶対しないでください。
- 充電中の充電器は熱くなりますが、異常ではありません。充電器が手で触れられないほど熱くなった場合など、異常を感じたときにはプラグを抜いて充電を中止してください。

注意

- 本機の充電は屋内で行うことを基本としています。直射日光が当たる場所で充電はしないでください。故障の原因となります。
- 充電器をつないだままで長時間放置しないでください。過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。
- バッテリーの+端子と-端子を金属類で接触しないでください。バッテリーが使用できなくなります。
- バッテリーの充電をしないときは、充電器を電源コンセントから外し、バッテリーを充電器から外して保管してください。

◎開梱後、使用前にバッテリーの充電を行ってください。

お買い上げ時はバッテリーは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電回数が多くなったり、年月が経過しますと、1回の充電で使用できる時間が短くなってきます。満充電しても散布作業時間が半減したときはバッテリー寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーのリサイクルご協力のお願い

本製品のバッテリーはリチウムイオン電池を使用しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーの交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みのバッテリーは、「充電式電池リサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、お買い上げの販売店または当社問合わせ先にお問合わせください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
 - ・端子部にテープを貼るかポリ袋に入れる
 - ・分解しない



リチウムイオン電池の
リサイクルマークです。

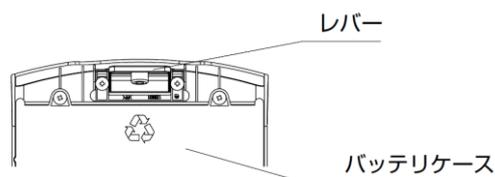
Li-ion



弊社は一般社団法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。使用済みのバッテリーのリサイクルにご協力ください。JBRCホームページ (<http://www.jbrc.com>)

(7) バッテリーの充電のしかた

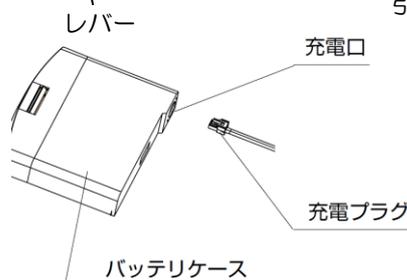
1. バッテリーケースを本体から外します。
 - ①バッテリーケースの引手裏のレバーを引きます。



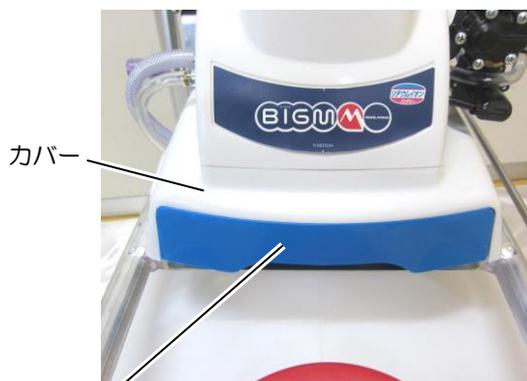
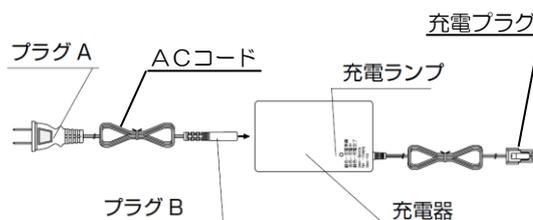
- ②そのままバッテリーケースを引き出します。



2. 充電器の充電プラグをバッテリーケースの充電口にさし込みます。



3. プラグBを充電器に差し込み、プラグAを家庭用（AC100V）コンセントに差し込みます。充電器の充電ランプが緑色に点灯し、その後赤色に切り替わり自動的に充電が開始します。充電ランプが緑色になれば充電完了です。充電時間は約160分です。
4. 充電完了後、プラグAを家庭用電源のAC100Vコンセントから抜いてください。
5. 次に充電プラグをバッテリーケースの充電口から抜いてください。
6. バッテリーケースを元のように本体の奥まで差し込みます。
7. バッテリーケースがしっかりと差し込まれ、カバーから出っ張っていないことを確認してください。



バッテリーケース

(8) 散布作業後

1. 薬剤タンク内を洗浄します。
 - ①タンク内を清水できれいに洗い流します。
 - ②薬剤タンクストレーナを洗浄します。
 - ③薬剤タンク内に1L以上清水を入れます。
 - ④電源をONにし、散布の要領でノズルから霧を出します。液がなくなるまで散布します。
 - ⑤中間ホースをポンプから外し、ポンプと噴霧ホース内の水を抜きます。

※P16「(10) 水抜きのかた」を参照してください。

2. 本機を清掃します。

注意

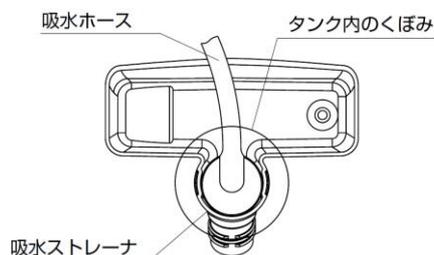
- 清掃、点検および充電の時は必ず本機の電源をOFFにしてください。
 - 本機のバッテリー（カートリッジ式）部分に水がかからないように十分ご注意ください。水が入ると、ショートやサビの原因になります。
 - 清掃後は本製品の内部に水分を残さないように水抜きしてください。冬期凍結により、ポンプを破損することがあります。
 - 付着した薬剤はきれいに取り去ってください。薬剤が付着していると、サビの発生や故障の原因になります。
 - 本製品の内部に残った薬剤は回収し、内部に付着した薬剤は洗い流してください。薬剤が残っていたり付着したまま保管すると、次回使用時に薬剤が混ざって薬害をおこす可能性があります。また、ポンプ、ホース、グリップを損傷する可能性もあります。
3. 薬剤を保管庫に戻し、鍵をかけて保管します。農薬使用日誌をつけます。
 4. 保護具を洗浄します。
 5. 衣類を脱ぎ、全身を洗います。

(9) 吸水ストレーナの清掃

吸水ホースのストレーナの網を清水で清掃します。



清掃後はタンク内のくぼみに吸水ストレーナを戻してください。



(10) 水抜きのみかた

注意

- 冬期には薬剤タンク、ポンプ内に薬剤を入れたままにはしないでください。破損の原因となります。また、噴霧ホースはポンプから外したままにしてください。

水抜きは必ず行ってください。冬期凍結によりポンプを破損することがあります。

- ①薬剤タンクのドレンキャップを緩め、薬剤タンク内の残液を抜きます。
- ②中間ホースをポンプ吐出口から外し、ポンプを運転し、ポンプ内の残液を抜きます。
噴霧ホース内の残液を完全に抜くには、ノズルを外し、中間ホースの接続金具先端からエアコンプレッサ等で空気を圧入してください。



ポンプ吐出口

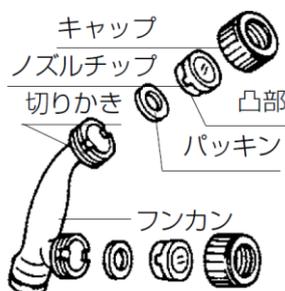
中間ホース

(11) ノズルの清掃

注意

- ノズルの分解・組立の際は、部品を無くさないでください。

ノズルが詰まった場合は、ノズルのキャップのネジを緩めて、ノズルチップを取り外し、清掃します。



【二頭口ノズル】
ノズルチップの凸部とファンカンの切りかきを合わせて組み立ててください。



【除草DLノズル】
ノズルホルダの凸部とファンカンの切りかきを合わせて組み立ててください。

7. 長期保管

(1) 格納

注意

- 凍結破損の防止のため水抜き後、中間ホースはポンプから外したままにしておいてください。
 1. 薬剤タンク、ポンプ、ホース内の水を確実に抜きます。
(本ページの(10)「水抜きのみかた」を参照してください)
 2. 以上のことを済ませたら、箱などに入れ、湿気の少ない風通しの良い場所に保管します。樹脂部は紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光が当たる場所には保管しないでください。

注意

- 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗部品はすべて、当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。
- 保管時は、バッテリーを充電器から外して保管してください。
- 長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

8. 故障と対策

(1) モータが回らない場合の簡易診断表

コントローラ表示	モータ動作状態	原因	処置
バッテリーランプ (赤色) 点灯 電源ランプ (橙色) 点滅 噴霧中ランプ (緑色) 消灯	モータ停止	バッテリーの電圧低下	充電
バッテリーランプ (緑色) 点灯 電源ランプ (橙色) 点滅 噴霧中ランプ (緑色) 消灯	モータ停止	モータ温度上昇	モータ冷却後再始動
バッテリーランプ (緑色) 点灯 電源ランプ (橙色) 点灯 噴霧中ランプ (緑色) 消灯	モータ停止	圧カスイッチ 作動中	サキコックを開く 又はノズルの清掃

※運転中にモータが停止し、全てのランプが消灯した場合、バッテリーの過温度保護が働いています。バッテリー冷却後、再始動してください。

(2) 故障と対策

簡易診断以外に異常があるときは、次の内容が考えられます。

☆印については販売店、または当社問い合わせ先へお問い合わせください。

噴霧が正常でない			
現象	原因	処置	
モータが回らない場合	コネクタの外れ	正しく接続	
	コントローラの不良 (☆)	交換	
	配線の断線 (☆)	交換	
	サーマルプロテクタの作動	モータ及びバッテリーの温度を下げてから再始動	
	モータ断線 (☆)	交換	
	バッテリーの電圧低下	充電、交換	
	ピストンパッキン固着 (☆)	交換	
モータは回るが	噴霧しない	ノズルのつまり	清掃
		ピストンパッキンの磨耗 (☆)	交換
		ポンプ弁のつまり (☆)	清掃
		吸水ストレーナのつまり	清掃
		コントローラの不良 (☆)	交換
		ピストンパッキンの磨耗 (☆)	交換
	圧力が上がらない	ポンプ弁のつまり (☆)	清掃
		エア抜き弁のつまり (☆)	清掃
		調圧弁の磨耗又はつまり (☆)	交換又は清掃
		ノズルチップの磨耗 (☆)	交換
		吸水ホースのつまり、又はつぶれ (☆)	清掃又は修正
		バッテリーの電圧低下	充電

充電不具合		
現象	原因	処置
充電しない	バッテリーの異常 (☆)	交換
	充電器ランプが緑色のまま変わらない (バッテリー、配線の異常) (☆)	交換
	充電器ランプが点灯しない (☆)	交換
	コネクタの接続不良	正しく接続(P14「バッテリーの充電のしかた」参照)
	配線の断線 (☆)	交換
容量が回復しない	充電時間の不足	充電
	バッテリーの異常 (☆)	交換
	充電器の異常 (☆)	交換

9. サービスと保証について

(1) 保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。

保証書はお客様が保障期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。

お読みになられた後は大切に保管してください。

製品を改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

(2) アフターサービスについて

● 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。

お買い上げの販売店に御連絡ください。

● 連絡していただく内容

○ 機種名

○ 製造番号 (※)

○ 故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。

● 本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

※ 製造番号は、製造番号ラベル (P 7. 付属品と各部のなまえとはたらき) を見てご確認ください。

(3) 補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造を打ちきり後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

● 消耗部品と主な補修用部品リスト

使用箇所	名称	部品番号
バッテリー (カートリッジ式)	バッテリー組立	1 3 3 0 8 7
ポンプ	シールパッキン	1 2 8 1 0 6
ポンプ	ピストンパッキンマトメ	1 2 8 1 0 8
ポンプ	シリンダパイプ	1 2 8 1 1 2
ポンプ	弁	1 2 9 6 0 9
ポンプ	弁座	1 1 4 0 0 9
ポンプ	弁座	1 2 8 1 1 5
ポンプ	オリング	1 2 9 6 1 0
ポンプ	オリング	0 1 9 2 8 5
ポンプ	弁シート	1 2 8 0 0 3
ポンプ調圧弁	弁座	1 2 8 1 2 2
ポンプ調圧弁	オリング	0 1 1 3 4 3
圧カスイッチ	弁座	1 3 0 0 7 4
圧カスイッチ	弁玉	1 2 9 6 1 2
ワイドノズル	ワイドノズル	1 2 6 6 4 4
除草ノズル	除草DLノズル	1 1 4 2 9 2
充電器 (ACコード付き)	充電器 (ACコード付き)	1 3 3 0 8 6

10. 主要諸元

仕様 ●この仕様は予告なしに変更することがあります。

		GSB500TRLi-50
寸法 (長×巾×高)		860×505(格納時)×860mm
乾燥質量		30.6kg
ポンプ		対向2連ユニフローポンプ
圧力		MAX2.0MPa(20kgf/cm ²)
吸水量		2.2L/min
モータ		DC100W
タンク容量		50L
噴霧ホース		φ6×50m
バッテリー		14.4V 5.6Ah リチウムイオン
連続作業時間 (※)		40~300分
充電時間 (※)		160分
車輪 (前)		4.10/3.50 ⁻⁴
車輪 (後)		2.80/2.50 ⁻⁴
付 属 品	充電器	1個 (部品番号 133086)
	グリップ	1個 (部品番号 129900)
	サキコック	1個 (部品番号 179946)
	ノズルパイプ	1本 (部品番号 122933)
	ワイドノズル	1個 (部品番号 126644)
	除草ノズル	1個 (部品番号 114292)
	取扱説明書	1冊 (部品番号 834505)
	保証書	1枚 (部品番号 230910)

※連続作業時間、充電時間はリチウムイオンバッテリー使用時の当社試験での値であり、保証地ではありません。使用環境により、その値は変化します。

オプション (別売)

本機には付属しておりません。ご希望によりご購入いただけます。

名称	部品番号
エコシャワーH09動力2頭口	401765

Memo

Memo

お願い

◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

お買い上げ時はバッテリーは十分に充電されていません。
(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

製品に関するお問合せ等は、まず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通無料通話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120-898-114

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

製品についてお問合わせいただく際は正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ①製品型式名、製造番号(貼付位置はP 7に記載)
- ②ご購入年月日③販売店名



株式会社 **丸山製作所**

本社/東京都千代田区内神田 3-4-15 TEL 03(3252)2281 (営・代表) 〒101-0047